

地域ニュース

高槻城石垣 整然と

府立槻の木高校（高槻城内町）の中庭で忘れられた存在になっていた高槻城本丸石垣の石7個が、校門そばの展示場に移送された。中庭ではバラバラに置かれていたが、本物の石垣のように整然と配置。市民らに城について広く知ってもらうのが目的で、生徒と地域住民が協力して展示場を完成させた。

高槻城は、戦国時代にキリシタン大名の高山右近らが城主を務めたことで知られる。同校敷地内に江戸時代の本丸が立地していたとされ、前身の府立島上高校で昭和50年、約90個の石垣の石が出土。ほとんどは埋め戻されたが、7個は、市教委が教材にするた



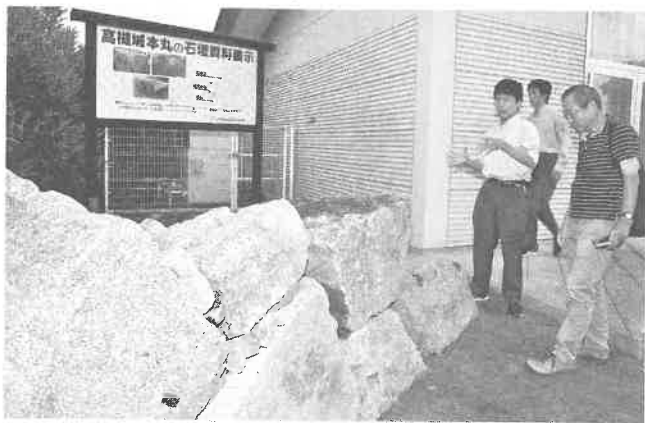
プレゼントされた特製ラガー顔を見せる児童ら 一東大阪

ターニング「ターニング」をPRするため、島根県大阪事務所のスタッフが10日、同市浪速区の産経新聞大阪本社を訪れた。写真。フェアは、同県出身者が地元へ帰るUターンや、県外出身者が移住するUターンの支援するイベント。県などが設けている各種支援制度や各市町村の概要を紹介する資料をそろえ、希望者の相談に応える。移住し

た人の体験談を聞けるエリアや保育士が常駐するキッズスペースも設置。学生向けの企画もある。アンケートの回答者にはもれなくエコバッグを、ブリスを回った人からは抽選で50人に特産品をプレゼント。移住支援コーディネーターの行平敬子さんは「島根の人に接して、島根を感じてほしい」とアピール

め残し、中庭に保管された。当初は教育に活用されたとみられるものの次第に忘れられ、なぜ置かれているかも分からなくなりました。そうした中、職員が島上高校の歴史を記した冊子で、石垣の記述を発見した。これがきっかけとなり、歴史や地理を学ぶ地歴部員らが今年1月から展示場建設の準備に着手。城の歴史を学ぶなどして作業を進め、8月30日にセレモニーが行われた。7個の石は中庭に無造作に置かれていたが、展示場では本物の石垣をイメージして積み重ねられた。地歴部の部員は「たくさんの人に協力してもらって完成できた。多くの人にぜひ見に来てほしい」と話している。

槻の木高校 校門そばに展示



校門そばの展示場に整然と積み重ねられた石垣—高槻市の槻の木高校

44年前出土「ぜひ見に来て」

もうバリアフリー上映会「第2回だれもが楽しめる映画上映会」（一般社団法人わくわくキラキラ発見クラブ主催）が16日午後1〜3時、MOVIX堺（堺市堺区）で開催される。光や音量に敏感な障害児もいることから、館内照明を通常の50％程度、音量を70％程度に設定。安心して観賞できるように工夫されている。

今回上映されるのは「ミユウツの逆襲EVOLUTION」。障害者手帳を持っている人は千円。希望者は13日正午までに要予約。問い合わせはわくわくキラキラ発見クラブ（info@wakukira.com）。

府営住宅の抽選結果発表 府営住宅の今年度第3表

【幕下】
 ○大翔龍 西21東大阪・追手風
 ○北勝陽 西30松原八角
 ○天一山 西41大 阪千賀浦
 【二段目】
 ○深沢 西6守 口山響
 ○勇磨 西9枚 方阿武松
 ○善天 東12大 阪春日野
 ○小城正 西14豊 中出羽海
 ○天津 西19交 野阿武松
 ○聖牙 西34東 阪大阪山
 ○朝虎牙 東53大 阪高砂
 ○天王山 西61交 野阿武松
 ○荒虎 東62大 東伊勢海
 ○西園寺 西69大 東式秀
 ○光源治 西70大 阪峰崎

名歌繚乱「歌と笑いのエンタメ」

10月9日 大阪・エルセラーンホール



今回の名歌繚乱は「クレイジーキャッツ&ザ・ドリフターズ&由紀さおり他」歌と笑いのエンターテインメント」と題して愉快なトークと歌を楽しんでいただきます。曲目は「ドリフのブэндコ節」「たまごに俺についてこい」「夜明けのスキヤット」「ワンジャラゲ」など。出演は中井美内子（ソプラノ）、「写真」のほか、水口健次（テノール）、嶋本晃（バリトン）、加藤英雄（ピアノ）。

【とき】10月9日（水）午後2時開演
 【料金】2800円（税込み）
 【会場】エルセラーンホール（大阪・堂島）
 【主催】産経新聞開発・産経新聞厚生文化事業団
 【チケット予約】産経新聞開発事業部（06・66330088）。ウェブ産経会員はお申し出ください。受付は平日午前10時〜午後5時。